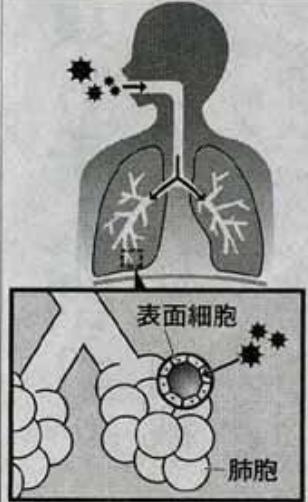


新型インフル肺炎 解明

新型インフルエンザの感染経路図



●新型インフルエンザウイルス

研究チームは、田中伸哉教授(45)らの研究チームが、人間での発症メカニズムを世界で初めて解明した。研究チームは、新型ウイルスが肺の細胞を直接破壊することを確認。今後の治療方

法の確立につながると期待される。チームは25日、研究内容を国内の感染症専門誌のインターネット版で発表する。

田中伸哉教授

所利尻支所の40代の女性保健師について、病理解剖を実施。保健師の脳や心臓、肺など全

臓器の状況を調べた。その中で、両肺が炎症などで通常の3倍の600倍まで重くなっ

て研究チームは保健師

の死因をウイルス性肺

炎と特定。表面活性剤

を失った肺胞が収縮を

繰り返す内に崩壊する

状況が急激に進行し、

たという。

季節性インフルエン

ザの場合、ウイルス感

染が直接肺内部ではな

くなる。このため、肺

炎を起こす場合は、ウ

イルス感染で弱った肺

への細菌感染が主原因

になるという。

田中教授は「新型ウ

イルスは、季節性とは

明らかに異なる性質を

持つおり、肺内部を

直接攻撃するため、劇

症肺炎となる可能性も

ある。このため、呼吸

器疾患を持つ患者や乳

児などは特に気を付

けて」と説明している。

北大チーム

ウイルスが細胞破壊

治療方法の確立に期待

【道内初の死亡】・保健師遺族が協力

命つなぎ「娘も本望」

【紋別】新型インフルエンザに感染し、道内初の死亡例となつた女性保健師。病理解剖に同意した母(68)は、「島民がかわいがつてくれて、気に入ったのでしばらくいたい」と話していたという。

別市は、「医学の発展に貢献できたことは、娘も本望だったと思う」と心境を語った。

女性保健師は阪神大震災や有珠山噴火、新潟県中越地震で被災者の心のケアにあたるな

ど、道内外で精力的に活動。離島での生活は「島民がかわいがつてくれて、気に入ったのでしばらくいたい」と話していた。

最後の最後まで医療従事者として島民のために尽くしたこと、母は「好きな保健師を

全うできたのだから喜んでいるはず。解剖の結果が新型インフルエンザの患者の命を救うことになればありがたい」と

だが、最愛の娘の突然の死に悲しみは深く、「今でも休みになると帰って来るんじやないかなって感じがする。いつまでも、そう

い」と気丈に話す。

だが、娘の死に悲しみは深く、「今でも休みになると帰って来るんじやないかなって感じがする。いつまでも、そう

い」と気丈に話す。

だが、娘の死に悲しみは深く、「今でも休みになると帰って来るんじや

い」と気丈に話す。

だが、娘の死に悲しみは深く、「今でも休みになると帰って来るんじや

い」と気丈に話す。

だが、娘の死に悲しみは深く、「今でも休みと

い」と気丈に話す。

だが、娘の死に悲しみは深く、「今でも休みと

い」と気丈に話す。

【道内初の死亡】・保健師遺族が協力

全

道

調

速

便

通

便

通

便

通

便

便